

最後の住所は、住民票の除票（又は戸籍の附票）により確認して記載する。（最後の本籍の記載は、申出人の任意であるが、住民票の除票等が市区町村において廃棄されている場合は、被相続人の最後の住所の記載に代えて最後の本籍を必ず記載する。）

被相続人 法務太郎 法定相続情報

被相続人の氏名を記載する。

最後の住所  
○県市町番地  
最後の本籍  
○県市町番地  
出生 昭和○年○月○日  
死亡 令和○年○月○日  
(被相続人)  
法務太郎

住所 ○県市町番地  
出生 昭和○年○月○日  
(長男)

法務一郎 (申出人)

申出人となる相続人には、「(申出人)」と併記する。

住所 ○県市町番地  
出生 昭和○年○月○日  
(妻)  
法務花子

被代襲者 (昭和 年 月 日死亡) 被代襲者 (昭和 年 月 日死亡) (2 / 2) へ続く

以下余白

住所 県 市 町 番地  
出生 平成 年 月 日  
(曾孫・代襲者)  
— 法 務 — 子

以下余白

作成者は作成した日を記載し、自身の住所を記載の上、記名する。

作成日: 令和〇年〇月〇日  
作成者: 住所 〇県 市 町 番地  
氏名 〇〇 〇〇

法定相続情報一覧図は、A4縦の用紙を使用してください。なお、下から約5cmの範囲に認証文を付しますので、可能な限り下から約5cmの範囲には記載をしないでください。紙質は、長期保存することができる丈夫なものにしてください。また、文字は、直接パソコンを使用し入力するか、又は黒色インク、黒色ボールペン(摩擦等により見えなくなるものは不可)で、楷書ではっきりと書いてください。